

平成30年8月1日
長崎南部リーグ指導者連合
会長 森 猶隆

第15回南部リーグ会長杯 熱中症対策について

例年になく異常な暑さが続いています。本大会に限らず、各チームにおかれましては、下記を参考の上、熱中症に対して細心の注意をお願いします。

(1) 大会運営について

- ・ 試合開始時刻を適宜調整する
- ・ 各クォーターの途中に給水タイムを設ける
- ・ 暑さ指数 (WBGT) を測れる温度計を準備、試合中でも適宜給水のアナウンスを出す

※朝の指導者会にて全チームで確認をお願いします。

(2) 各チームで行う対策

- ・ 指導者は出来る限り子供たちの体調にも目を向け、決して無理をさせないこと
- ・ 濡れタオルを凍らせてクーラーBOX で持参する
- ・ 塩分チャージのアメなどを準備する
- ・ 着替えのシャツ・タオルを多めに準備する
- ・ エアコンを入れた車で休ませる
- ・ 万一の場合、ためらわずに救急車を呼ぶ
- ・ 暑さ指数 (WBGT) を測れる温度計をベンチに準備、適宜給水の指示を出す

先日、WJBL のサマーキャンプが大村市で開催されましたが、プロの選手でも空調のついていない体育館での練習に「今まで経験したことのない暑さ」と話しており、スタッフがフロアで WBGT を確認しながら給水を行ったそうです。プレーをするとプレーヤー自身では暑さの感覚が掴みにくくなるという説明でした。

プロの選手がそういった状況なのですから、小学生の子どもたちに自己管理で給水を任せるということは非常に危険です。会場の総務もチームの指導や審判で常に全体を見渡せる状況ではありませんので、各チームの保護者の皆様の目で観察をお願いしたいと思います。

併せて、プレーヤーだけでなくギャラリーで観戦する幼児等につきましても同様の対策をお願いします。